

かけこ

住職挨拶

第11号
令和2年盛夏
発行
真龍山大雄寺
北見市留辺薬町宮下町109
TEL 0157-42-2418
FAX 0157-42-2748



当山二世二十三回忌法要の様子

今年もお盆の時期となりました。中国武漢から発生したとされる新型コロナウイルスは、瞬間に全世界に広がり、未だ感染拡大の真つ只中であります。私たちの生活様式も変化を求められ、いつ収束するか分からない先行きに、誰もが不安を抱えております。
またこの状況が引き金となって、世界各地で差別や分断という問題が顕在化しています。心に余裕が無くなると、他者を攻撃することによって無意識に心のバランスを保とうとする。それは日常生活の中で、身近な問題でもあります。様々な情報が錯綜している中、どうやって正しい選択をしていくか、冷静な判断が必要とされていきます。
もしかしたらこれを契機に今までの社会構造や価値観も変わるのかもしれませんが。しかしどの時代でも様々な困難に直面しながら、私たちは知恵と勇気で乗り越えてきました。作家の五木寛之さんが「経済がアクセルで、政治がハンドルならば、宗教はブレーキだ」と仰っていました。このような時だからこそ、立ち止まって自分自身と向き合うことが何より大切です。そして私たち一人ひとりが自己を抛り所として、仏法を抛り所とした先に、本当の拓けた未来があるんだらうと思います。

合掌

躍動感あふれる演奏…和楽器ユニット「和心ブラザーズ」

留辺薬でライブ、地元住民ら60人が楽しむ



7月23日 経済の伝書鳩掲載

令和元年七月十七日、和楽器ユニット「和心ブラザーズ」にお寺の本堂にて演奏して頂きました。津軽三味線の新田昌弘さんと和太鼓のしんたさんによる演奏。この度、お二人は「原点回帰ライブ」という事で、出演料を頂かずに観客の投げ銭だけで全道を回られました。当日は入場無料という事で檀信徒問わず多くの方が集まり、日本最古の民謡とされる「こきりこ節」をはじめ、オリジナル曲など伝統と新しさを感じさせる演奏で盛り上げて頂きました。

お寺の動き

津軽三味線×和太鼓ライブ

江戸大神楽公演

令和二年一月十七日、例年の大般若祈祷法要に合わせ、法要終わって「江戸大神楽」花仙（かせん）さんによる公演をして頂きました。テレビや全国各地の舞台などで活躍されております。演目の合間に軽妙なトークもあり、目の前で見ると迫力ある公演で楽しませて頂きました。



公演の様子

ホームページ 大雄寺のHPを作りました

ホームページ
大雄寺のHPを作りました
アクセス ・ お問い合わせ
☎ 0157-42-2418
〒091-0008 北海道北見市留辺薬町宮下町109



daiyuji.net

● 詳しい内容は裏面にて ●

■HPのオンライン法要のページ



テレビに繋ぎ大画面にて



お仏壇前にて

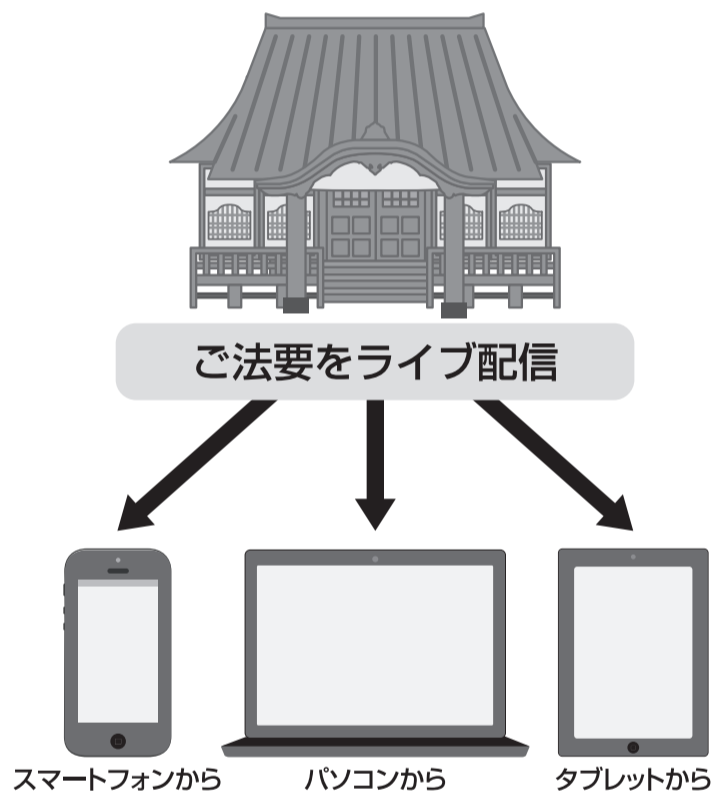
▲大雄寺HP「オンライン法要」より

Q お寺のHP(ホームページ)でオンライン法要が出来るようになった、と聞いたんですが、どういう意味でしょうか？

A オンライン法要とは、携帯のテレビ電話などを使って、リアルタイム(同時)にお参りする事です。私たち(僧侶)が本堂でご先祖のお参りをして、それを皆さんが自宅で映像をご覧になる事によって、直接お集りにならなくても一緒に参りする事が出来ます。この新型コロナウイルスの影響で家族・親戚が集まらないという中、少しでもこの機会を大事にして頂きたいという事で計画しました。

仏事 Q & A

知ってるつもりでも、わからないことが多い仏教用語・作法もあるようです。そこでQ&Aのコーナーを設けました。



編集後記

今年はやはり新型コロナウイルスの影響がまだ続きそうです。私も「お坊さんだからコンピュータに疎くても構わないんだ」と開き直っています。私が疲れます(苦笑)。そういえば昔のお坊さんも、こうやって時代の最先端を行ってたんだなあ、としみじみ感じます。

住職

- 令和2年度
大雄寺行事予定
- 8月16日
 - 盂蘭盆施食会
 - 新亡施食会 午前11時より
 - 一般施食会 午前11時半より
 - 9月23日(秋分の日)
 - 秋彼岸会 午後1時より
 - 10月17日
 - 成道会 正午12時より
 - 1月17日
 - 大般若祈祷会 午前11時より
 - 3月21日(春分の日)
 - 春彼岸会 午後1時より

令和二年度役員・世話人	
住職	米田憲人
総代	戸田健司(大富)
世話人	佐々木勝太郎(豊金)
全	木幡和清(旭中央)
全	吉村義正(北見市)
全	井上勝昭(旭三区)
世話人	佐川和則(旭南)
全	渋谷恒彦(秋田)
全	工藤良二(宮下)
全(監査)	荒木正憲(旭一区)
全(監査)	尾関昭夫(北見市)